

研究名：早産児が急性期に受ける痛み刺激への治療的介入の実態調査

1．研究の目的

早産児が急性期に受ける処置の内容や頻度を調査し、痛み刺激に対する看護の必要性をスタッフに意識付けることを目的とします。

2．研究の方法

研究対象：当センターにて2016年9月～2019年9月までの29週未満の早産児の日齢3までの方

研究期間：倫理審査委員会承認後～2021年3月

研究方法：量的研究デザインで実施します。カルテ情報から過去3年分のデータを抽出し、統計ソフトを用いて分析します。

3．研究に用いる情報の種類

治療的介入の種類、治療的介入の回数、在胎週数、修正週数、体重など

4．情報の公表

研究内容は学会発表で公表する予定です。

5．研究実施機関

国立成育医療研究センター

6．お問合せ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2020年4月30日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 看護部 飯塚しのぶ

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181（内線：3402）

研究責任者：

国立成育医療研究センター 看護部 4階 NICU 飯塚しのぶ